

群馬県前橋市における地域交通政策の取組と郵便局の連携に関する実証

地域MaaSにおける交通系ICカードの販売やマイナンバーカード連携をサポートする拠点が必要
⇒市内46局の郵便局を活用

課題・現状

- ・地域MaaSの実装にあたり、サービス提供に必要な交通系ICカードの認知・取得率向上が課題。
- ・マイナンバーカードと交通系ICカードの登録連携について、高齢者等への丁寧な説明やサポートができ、身近に登録連携が行える拠点が不足している。

実証事業の内容

- ・前橋市内46郵便局で①交通系ICカードを販売。
- ・マイナンバーカードと地域連携ICカードとの登録連携ができる端末を郵便局に設置し、②郵便局社員が登録連携を支援。
- ・交通結節点としての郵便局の取組として、前橋中央郵便局において③シェアサイクルポートの設置や④バイタル測定を実施。

実証期間: 令和4年11月～令和5年1月



地域交通政策における郵便局との連携の方法やその可能性を検証

成果・今後の方向性<1-2・1-3参照>

- 3ヶ月の実証期間中に3,000枚(過去1年間で販売した数と同数)の交通系ICカードを販売。
- 3ヶ月の実証期間中にMaeMaaS会員登録者数が3倍、マイナンバーカードとの登録連携数が5倍に増加。
- シェアサイクルポートは一定(週13件程度)の利用があり、他の郵便局への設置を期待する声があった。バイタル測定も利用しやすく便利であるなどの反応があった。



実証前3か月と実証期間3か月間の登録件数

- 郵便局は地域にあまねく設置されており、周辺環境や住民ニーズを深く理解し、デジタルに詳しくない方にも丁寧な説明やサポートができる郵便局社員がいることから、地域MaaSの実装にあたり、郵便局で交通系ICカードの販売や、マイナンバーカードとの登録連携を行うことは効果的。
- シェアサイクルポート・バイタル測定拠点を設置するなど、地域の交通結節点としての郵便局の活用について新たな可能性が示された。

※MaeMaaSとは、市内の多様な交通モード(鉄道、複数のバス会社路線、市内3エリアを運行しているデマンド交通等)を「MaeMaaS」1つでわかりやすく案内する前橋市民向けサービス。

熊本県八代市における郵便局を活用した買い物サービス支援の実証

買い物困難者の増加⇒郵便局社員が商品注文をサポート、ゆうパックで自宅まで配送するなど、買い物を支援

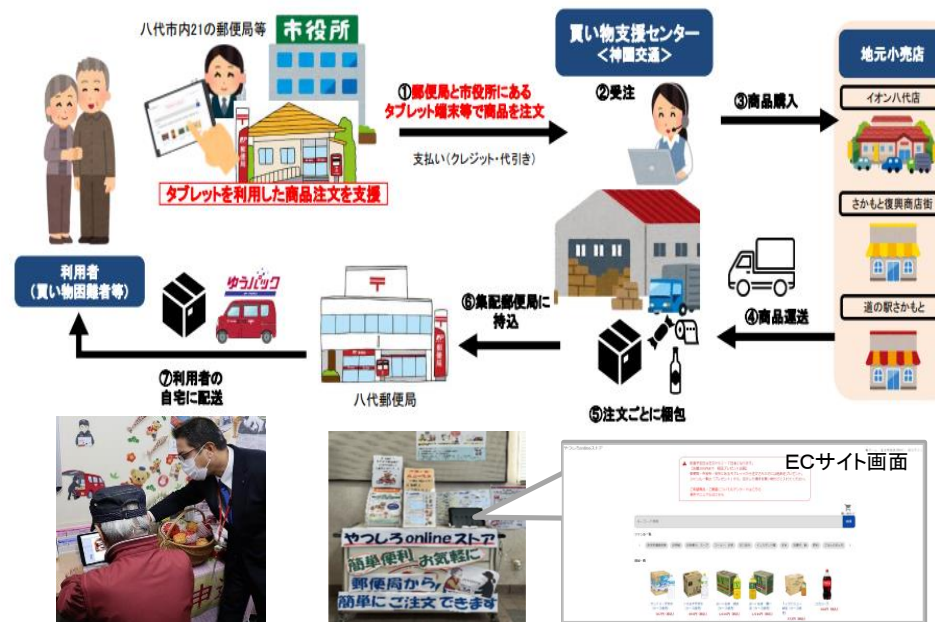
課題・現状

- ・中山間部では、自宅近くの郵便局に通うことはできても、免許返納等により市街地の商業施設に頻繁に行くことが難しい住民（買い物困難者）が存在。将来的にも増えていく可能性が高い。
- ・自治体において、このような買い物困難者の生活利便性を向上させることが求められる。

実証事業の内容

- ・八代市内小売店の協力の下、買い物困難者向けのECサイトを構築。
- ・注文した品物は、買い物支援センター（地元の交通事業者）が購入代行し、ゆうパックで自宅まで配送。
- ・八代市内21郵便局、八代市役所及び坂本支所で、タブレットを利用した商品注文をサポート。

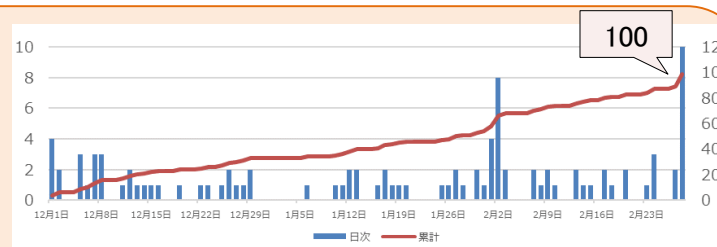
実証期間：令和4年12月～令和5年2月



郵便局と公的地域基盤が連携した買い物サービス支援方策の有効性を検証

成果・今後の方向性

- 買い物困難者向けのECサイトの会員登録件数は88件、注文件数は100件。
うち、郵便局での会員登録は26件、郵便局での注文は32件(約3割が郵便局からの利用)。
- 郵便局社員による注文サポートが、タブレット操作に不慣れな層の本サービスの利用増進及び利便性向上に繋がった。



- 郵便局は小売店がないエリアにも存在していることから、買い物サービス支援との親和性が高い。
- 今後の横展開に当たっては、サービスの需要に見合った体制を構築することが必要。また、郵便局社員による注文サポートを確実なものとするため、実施郵便局における研修等に十分な時間を確保することが必要。

三重県熊野市における郵便局ドローンの中山間地域での公的活用に関する実証

災害時の物資輸送等経路の途絶⇒郵便局ドローンを活用し、災害時に物資輸送・状況モニタリング

課題・現状

- 人口減少・高齢化が進行する中山間地域において、災害時に物資輸送等経路が途絶することがある。災害時の支援物資輸送や被災状況確認が課題。
- 日本郵便はドローンによる郵便物等の配送の実用化に向けた取組を進めており、これが実用化される場合、公的な目的にも活用することが考えられる。

実証事業の内容

- 災害時に道路が寸断されたことを想定し、郵便局ドローンを活用して、孤立した集落に衛星携帯電話等の緊急支援物資を輸送。
- 郵便局ドローンに搭載されたカメラを使用し、被災状況のモニタリングや被災者等の捜索を実施。



過去の土砂崩れの状況



ドローンによる飛行の様子



離発着場: 木津呂地区公民館駐車場



- ✓ 衛星携帯電話等の輸送
- ✓ 道路等の状況モニタリングも実施



遠隔操縦

- 飛行距離 往復6km弱
- 飛行時間 約10分間
- ドローン飛行レベル3 (無人地帯での目視外飛行 (補助者の配置なし))



入鹿郵便局



離発着場: 入鹿郵便局駐車場

郵便局のドローンの公的活用の可能性を検証

成果・今後の方向性

- 郵便局のドローンを活用した緊急支援物資の輸送、郵便局ドローンに搭載されたカメラを使用した被災状況の確認、被災者等の捜索が可能であることを確認。
- 現時点では、荒天の場合など気象条件によって飛行が不能となるほか、随時変更される制度を理解した適正な運用が求められる。

- 今後、ドローンによる郵便物等の配送が実用化される際には、自治体の要請に応じたサービスとして提供されることが期待される。

- 災害時の活用の実効性を高めるため、平常時から災害時にどのような物資を運ぶべきかなど、関係者間で想定を共有しておくことが必要。



ドローンによるモニタリング映像



モニタリング映像を確認する自治体職員、郵便局社員